

2022

共通テスト 同傾向の問題



世界史B

史料や研究を選ぶ問題は、本試で初めて出題！

共通テスト

第1問 問9

問9 前の文章が述べるように、ある民族や集団について研究する際に、別の民族や集団が残した記録を史料とする例は少なくない。次の研究あ・いが、その例に当てはまるか当てはまらないかについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 9

研 究

あ 『三国志』魏書東夷伝倭人条(魏志倭人伝)を用いた、邪馬台国についての研究

い パスバ文字(パクバ文字)で書かれたフピライの命令文書を用いた、元朝についての研究

- ① あのみ当てはまる。
- ② いのみ当てはまる。
- ③ 両方とも当てはまる。
- ④ 両方とも当てはまらない。

河合塾

第2回全統共通テスト模試 世界史B 第5問 問5

問5 江南デルタ沿岸部は、古くから塩の生産がさかんで、塩の専売で財政を補おうとする王朝が多くあった。中国における塩の専売制の歴史を調べるさいに、直接には関係がないと考えられる資料はどれか。 次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 前漢の武帝が行った経済政策に関する資料
- ② 北魏の孝文帝が創始した土地制度に関する資料
- ③ 唐末に起こった農民反乱に関する資料
- ④ 明代に全国的に活動した商人集団に関する資料

本試の、研究内容とそれに必要な史料を組み合わせる問題は、昨年にはなく、共通テストでは初めての形式であったが、共通テスト模試第2回の問題は、研究する際に必要な資料を選択する問題であり、この問題を解いたことのある受験生は、心理的な優位を感じただろう。